

転倒転落防止情報22

歩行器は正しく使いましょう

転倒予防に使用しているはずの歩行器。使い方を誤ると転倒のリスクを高めます。歩行器の要注意ポイントをお知らせします。

事例①

左上下肢麻痺のある患者に、歩行器を使用して身障者トイレまで付添歩行をおこなった際に、バランスを崩して転倒した。

上肢に麻痺や骨折があると歩行器を上手に操作することができないため、かえって歩行時のバランスがとりにくくなります。



ポイント

まずは杖歩行や介助下での歩行が可能かどうか評価しましょう

事例②

四肢に痺れと疼痛のある患者が、歩行器を使用しトイレへ行った。ドアを通り過ぎてしまったため、歩行器を持ったまま後ろへ引き返したところ転倒した。

歩行器を無理に後方へ引いてしまうと後方に重心が勢いよく移動し、転倒につながります。



ポイント

基本的に歩行器は押しながら前へ進んでいきましょう。



歩行補助具の選定に迷った時は、
リハビリテーション室(内線3571)
に相談しましょう

